

神戸市

神戸市での地域移行・定着の取り組み

神戸市では・・・

精神障害者の地域移行及び地域定着の体制整備を推進するため、ピアサポーターの活用場の充実とその支援、各種研修等を地域の事業所へ委託（コーディネーターを配置）し、医療と福祉の連携強化、地域のネットワークの強化を図っている。

1 県又は政令市の基礎情報

神戸市



取組内容（平成28年度）

＜長期入院精神障害者地域移行・地域定着推進事業＞

- ・地域移行推進連携会議
- ・地域移行・地域定着推進検討会
- ・ピアサポーター養成研修
- ・ピアサポーターフォローアップ研修
- ・ピアサポーターによる体験発表、個別支援

＜地域支援機能強化事業＞

- ・チャレンジ研修
- ・普及、啓発

＜その他＞

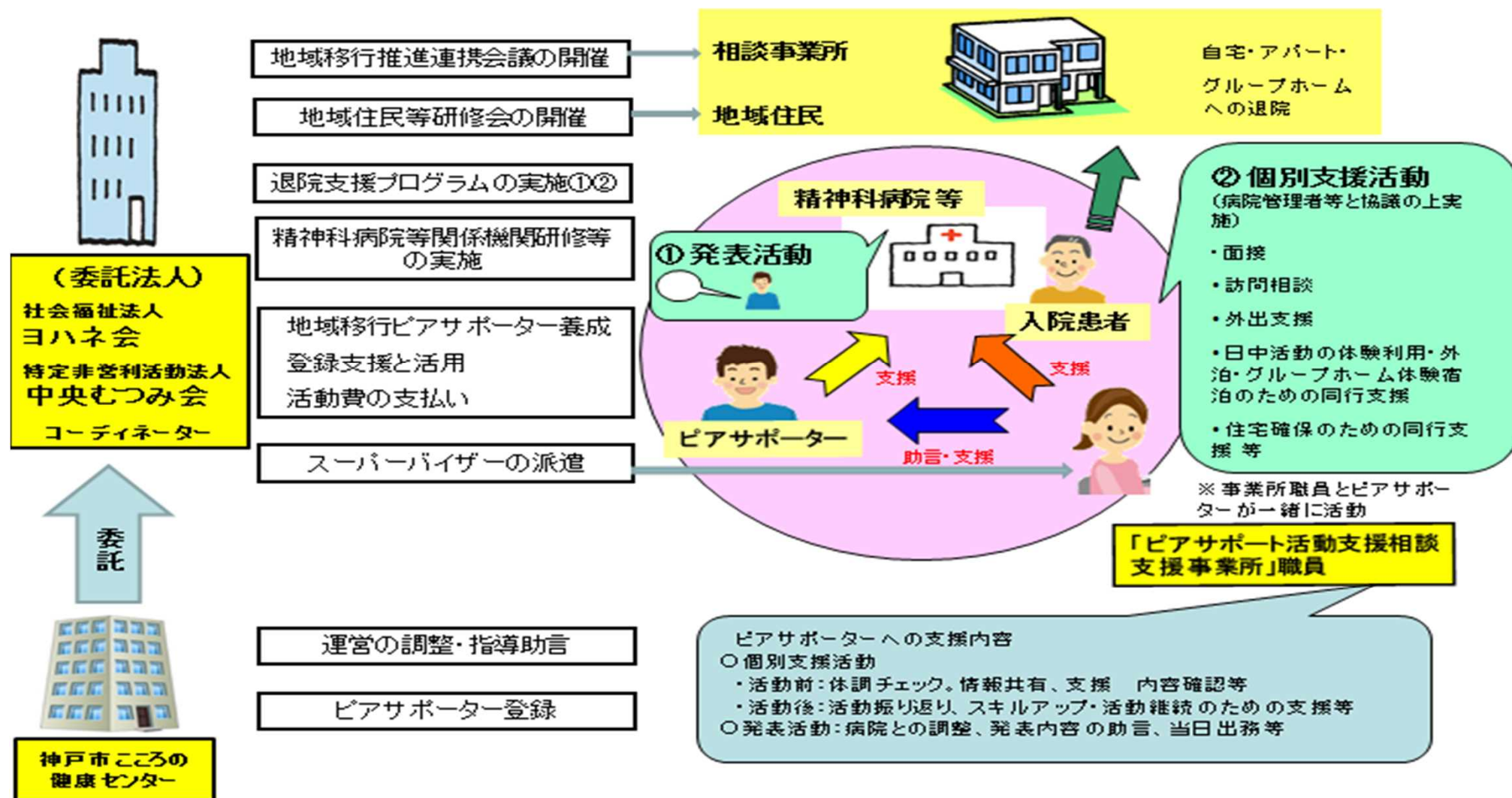
- ・ピアサポーター交流会

基本情報

障害保健福祉圏域数（H29年1月末）	1カ所		
市町村数（H29年1月末）	1市町村		
人口（H28年12月末）	1,535,667人		
精神科病院の数（H28年6月末）	13病院		
精神科病床数（H28年6月末）	3,611床		
入院精神障害者数 （H28年6月末）	3か月未満：873人（28.6%）		
	3か月以上1年未満：541人（17.7%）		
	1年以上：1,640人（53.7%）		
	うち65歳未満：732人 うち65歳以上：908人		
退院率（H28年6月末）	入院後3か月時点：56.3%		
	入院後6か月時点：83.4%		
	入院後1年時点：91.8%		
	基幹相談支援センター：1		
相談支援事業所数（H28年12月末）	一般相談事業所数：26		
	特定相談事業所数：48		
	地域移行支援サービス：19人		
障害福祉サービスの利用状況 （H29年1月）	地域定着支援サービス：8人		
保健所（H29年1月末）	1カ所		
（自立支援）協議会の開催頻度 （29年12月末）	9回／年（精神部会）		
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の有無と数	都道府県	有・無	カ所
	障害保健福祉圏域	有・無	1カ所
	市町村	有・無	1カ所
精神保健福祉審議会（H27年度）	1回／年、委員数13人 （28年度は3月実施予定）		

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

平成28年度『神戸市長期入院精神障害者地域移行・地域定着推進事業』



2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

入院生活

地域生活のはじまり ⇒ 安心でき、安定した地域生活



神戸市長期入院精神障害者地域移行・地域定着推進事業

個別支援体制・地域生活定着支援体制の構築

精神科病院

<退院支援>

- ・退院意欲喚起
- ・生活能力の向上(疾病教育、服薬管理、金銭管理等)
- ・地域援助事業者との連携、地域事業所での体験プログラムの活用 など
- ・退院後生活環境相談員(法)
- ・入院当初からの医療保護入院者への退院支援
- ・医療保護入院者退院支援委員会の開催
- ・退院支援相談員(診療報酬)
- ・精神療養病棟での退院支援

<医療機関での地域定着支援>

- ・定期通院支援(往診や訪問看護の導入・地域支援者との連携)

☆ピアサポーター

<退院に向けた支援>

- ・精神科病院等での発表活動
- ・地域移行利用者等への個別支援
- ・精神科病院入院患者との個別面談

<地域定着支援>

- ・事業所職員等との訪問
- <ピアサポーター交流会(自主開催)>

障害福祉サービス事業所

<退院支援>

- ・入院患者の体験プログラムの受け入れ
- <地域定着支援>
- ・サービス提供、医療機関との連携

相談支援事業所 ☆ピアサポーターの積極的活用

<退院に向けた支援>

- ・地域移行支援サービス提供

<地域定着支援>

- ・医療機関・関係機関との連携、地域定着支援サービス提供

訪問看護ステーション

- ・精神科訪問看護の提供
- ・地域定着への支援

委託法人(コーディネーター)

- ・地域移行推進連携会議の運営
- ・ピアサポーターの養成・育成
- ・地域移行・地域定着推進検討会の運営
- ・精神科病院向け研修の実施
- ・相談支援事業所等へスーパーバイズ

区(精神保健福祉相談員)

- ・障害福祉サービス利用申請受付
- ・本人、支援者からの相談への助言等

市(こころの健康センター)

- ・地域移行支援方策の検証(地域移行推進連携会議、地域移行・地域定着推進検討会等)
- ・検証事業の評価・委託法人との連携
- ・ピアサポーター交流会へのバックアップ

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に取り組む市・圏域（例）

関係機関の役割		
市町村ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場	協議体の名称 設置根拠	（神戸市の場合） 神戸市地域移行推進連携会議（長期入院精神障害者地域移行・地域定着推進事業）
	協議の内容	地域移行の促進にむけて、現状の把握、課題の共有を通し各機関が実践できることについて協議。
	協議の結果としての成果	・推進連携会議の結果、地域移行・地域定着推進検討会が立ち上がり、より具体的な課題に対する検討が行えるようになった。 ・これまでピアサポーターを活用した地域生活報告会等の実施のなかった精神科病院との連携につながった。
障害保健福祉圏域ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場	協議体の名称 設置根拠	同上
	協議の内容	
	協議の結果としての成果	
都道府県ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場	協議体の名称 設置根拠	
	協議の内容	
	協議の結果としての成果	

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

○神戸市精神障害者地域移行推進事業（H24～27年）

- ・地域移行推進事業協議会
- ・ピアサポーター養成、支援
- ・ピアサポーターの活用〈実績：参考〉

年度	神戸市精神障害者地域移行推進事業(市内病院対象)				登録ピアサポーター数
	個別支援活動	発表活動			
		参加者(のべ)	回数	活動ピア数	
H24	実績なし	101人	2病院3回	実7人のべ10人	7人(推薦機関2か所)
H25	利用者1名 活動2回 活動ピアサポーター実1人	147人	5病院10回	実11人のべ24人	17人(推薦機関6病院)
H26	利用者2名 活動18回 活動ピアサポーター実1人	791人	7病院58回	実17人のべ130人	27人(推薦機関8か所)
H27	利用者4名 活動22回 活動ピアサポーター実2人	997人	5病院75回	実21のべ175人	34人(推薦機関10か所)

○神戸市長期入院精神障害者地域移行・地域定着推進事業（H28年）

- ・地域移行推進連携会議
- ・ピアサポーター養成研修、フォローアップ
- ・地域住民向け研修会
- ・地域移行地域定着推進検討会

H28年12月～平成29年3月 計4回予定 医療・福祉・行政の26機関より実務担当者が参加

- ・退院支援プログラム等ピアサポーターの活用
（実績）発表活動：5病院66回 参加者787人 活動ピア実15人
個別支援活動：利用者6人 活動41回 活動ピア実3人

○地域支援機能強化事業〈障害者支援課〉

○長期入院患者退院支援事業〈保護課〉

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組における強みと課題

特徴(強み)

1. 平成28年度に新たに検討会が立ち上がり、実務者レベルで協議できる場ができた。
2. 地域移行のみならず地域定着にも積極的な支援者が多い。

課題

1. 市内各病院や相談支援事業所において、ピアサポーターの活用状況に差がある。
2. 個別支援活動のできるピアサポーターの不足。

指標の推移	平成25年度	平成26年度	平成27年度
1年以上の精神科病院在院患者数（各年6月30日現在）（人）	1, 851	1, 769	1, 692
地域移行支援利用者数（各年度3月末時点）（人）	11	14	14
ピアサポーターの養成者数※（実人数）（人） ※ピアサポーターの養成を目的とした取組を実施している場合	8（研修受講者）	20（研修受講者）	37（研修受講者）
ピアサポーターの活動者数（実人数）（人）	11	17	21

平成28年度の目標と達成状況の方向性(暫定評価)

1. 今年度より、新しく発表活動等ピアサポーターの活用が進んだ病院がある。市内全域で少しずつ広がり始めている。
2. 検討会が立ち上がったことで、実務者レベルの課題把握とそれに対する具体的方法の検討が行えるようになった。そして、顔の見える関係が構築されてきた。

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた平成29年度の取組スケジュール

平成29年度の目標

1. 地域移行・定着の促進に有効なツールの作成を行い(病院職員向け・患者向け資料等)、ピアサポーターの活用促進や地域移行・定着の利用促進に結びつける。
2. 地域移行・定着について協議する場を地域の実情等に合わせて市内全域に広げていく。

時期(月)	実施内容	担当
H29年4月～	(1)体験談プログラム、個別支援プログラム ・ピアサポーターの活用や地域移行支援の利用が少ない病院に対して、病院管理者等と協議しながら、方法の検討や実施の働きかけなど、実施に向けてのコーディネートに取り組む。 ・上記以外の病院は、定例的にピアサポーターによる体験談発表活動(地域生活報告会)を開催していく。 個別支援プログラム ・体験談プログラム実施の中で病院と連携をとりながら、個別支援を進めていく。	委託法人コーディネーターを中心に実施
7月	(3)ピアサポーター養成・フォローアップ研修	
8月 随時	(4)地域移行推進連携会議 (5)精神科病院職員等に対する研修、病院説明会等の開催 (6)スーパーバイザーの派遣 ・必要に応じて随時派遣。 ・地域移行支援の取り組み推進にむけた働きかけを相談支援事業所等に対しておこなう。	